

## タスク・シフト/シェア

- タスク・シフト/シェアとは、これまである職種が担っていた業務を、他の職種にシフト(移管)することや、シェア(共同化)することで、これまでの「チーム医療」の発展とされています。現在国を挙げて取り組んでいる大きな医療の変革の動きであり、個々の従事者の業務負担を最適化しつつ、医療の質を確保する方法の1つとなります。
- タスク・シフト/シェアにおいて、看護師がその専門性を発揮できる体制を構築するためには、看護チームにおける各職種の役割、業務の分担についての見直しや検討が重要です。

### 基本的な考え

医療機関において医師の働き方改革が進められる中でも、**看護師のさらなる専門性の発揮により、国民に必要な医療が安全かつより一層タイムリーに提供されるよう、看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに取り組むことが重要**

#### 医師と看護師の間

- 法令等で定める看護師の業務範囲や医師の指示について理解し、看護師の**専門性のさらなる発揮に向けて裁量を活用**する
- 包括的指示の活用にあたって、求められる**能力に応じた必要な教育**を実施する

#### 医師以外の職種と看護師の間

- 共に働く**他職種の業務範囲や業務を実施する際の指示等の要件**を理解・共有し、**看護師がその専門性を要する業務に専念できるよう**タスク・シフト/シェアを推進する

看護補助者・  
他の医療専門職  
との協働

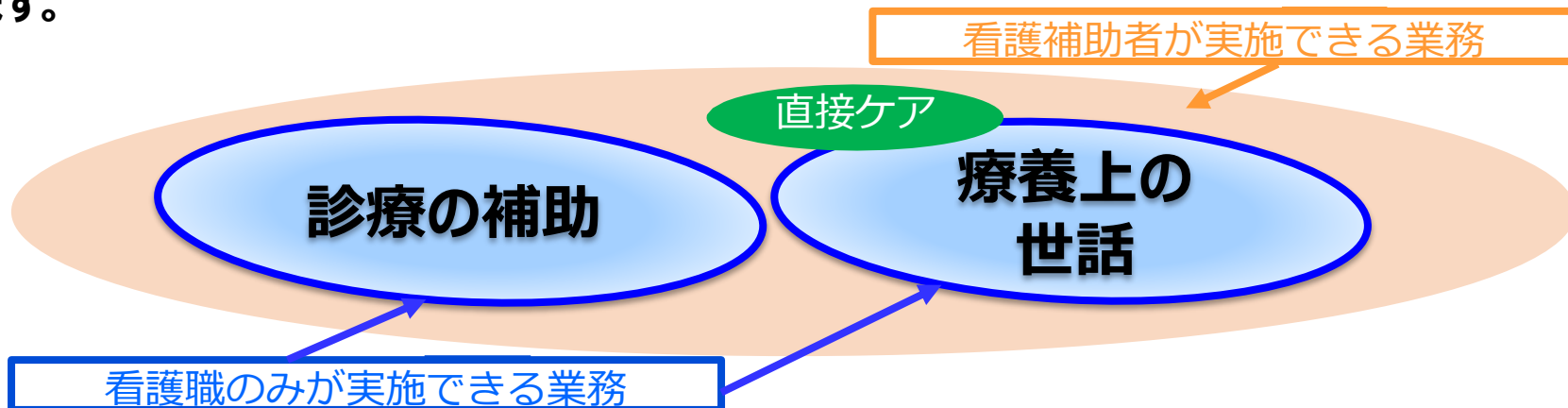


# 医療機関及び訪問看護ステーションにおける看護職と看護補助者の協働の基本的な考え

- 看護補助者の業務は「療養上の世話」と「診療の補助」を含まない看護補助業務です。
- 看護師は看護補助者に業務の指示を適切に出す責任があります。
- 看護師・准看護師は看護補助者に業務の適切な指導を行う責任があります。

## 看護補助者の業務

- 食事、清潔、排泄、入浴、移動等の直接ケアについては、その業務が「療養上の世話」でない場合限り、看護補助者が実施することができます。
- その業務が「療養上の世話」であるかどうかは、業務の内容だけでなく、対象者の状態によって決まります。

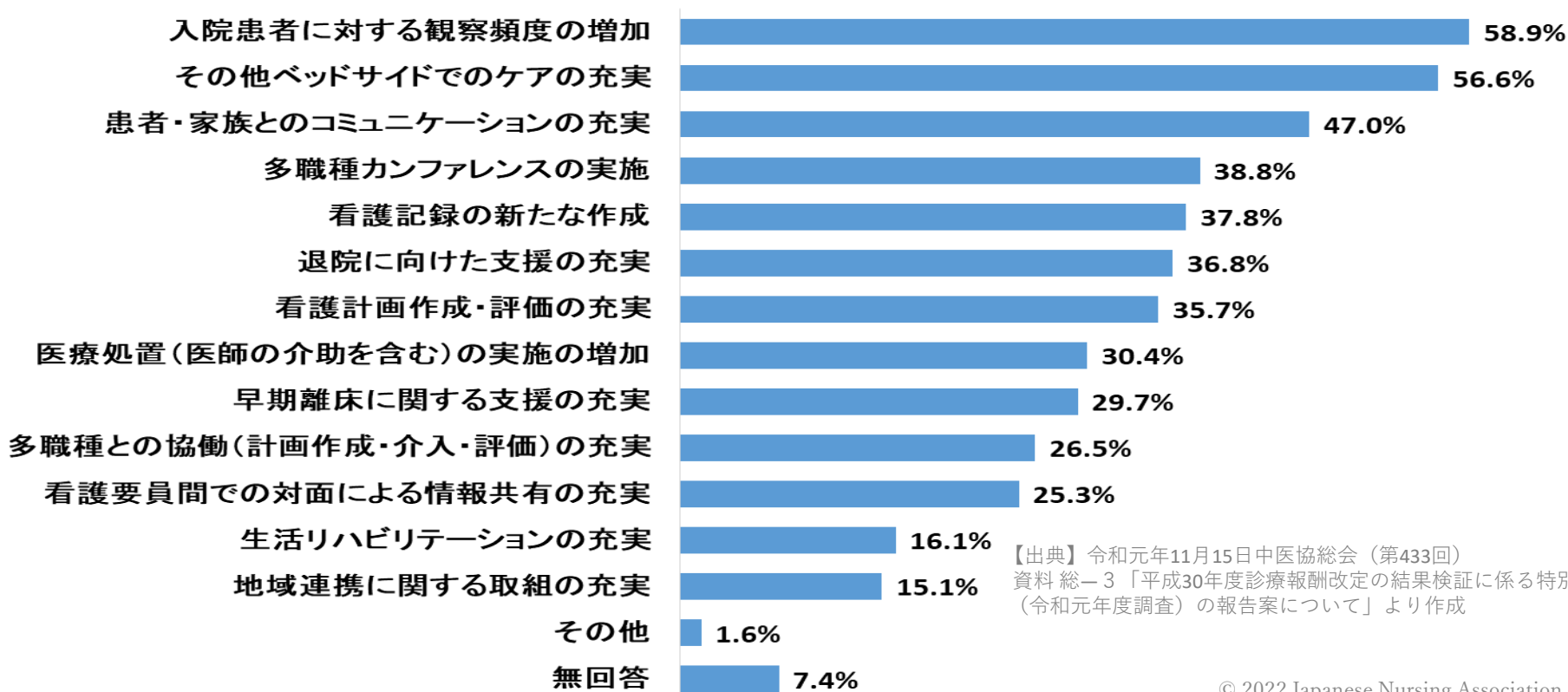


※各職種の仕事と責任の詳細は「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」を参照

## 適切な業務分担による看護の専門性発揮

- 看護補助者を活用することで、看護職が、「入院患者に対する観察」や「ベッドサイドでのケア」、「患者家族とのコミュニケーション」といった看護の専門性を要する業務への時間を増やせたことが明らかとなっています。
- 看護の専門性をより発揮するために、看護補助者との適切な業務分担は欠かせません。

### 看護補助者の活用により時間を増やすことができた看護職の業務



【出典】令和元年11月15日中医協総会（第433回）  
資料 総-3 「平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（令和元年度調査）の報告案について」より作成

# 看護補助者の確保・定着までのハードル

(2021年度病院・ハローワークへのヒアリング結果より)

- 求職者は、病院のホームページの求人情報を確認することは少なく、ハローワークを活用しています。しかし、現状ではハローワークに求人票を出していない病院は少なくありません。
- 求職者に看護補助者の仕事内容が知られていない中、病院側が出している求人票には応募につながる魅力的な情報や労働条件、具体的な仕事内容、教育体制などが記載されていない場合もあります。

## 【ハードル1】求職者の選択肢の1つに“看護補助者”という仕事が入っていない

求職者

- “看護補助者”という職種がほとんど知られていない（医療事務等の専門学校学生も）
- 一般的に「病院で働く＝有資格者」という認識
- 看護補助者を志望する学生の実習を受け入れる病院は極めて少ない（＝新卒採用を行っている病院が少ない）
- 体力的に厳しい職種のイメージ

ハローワーク

## 【2】選択肢に入っても応募に至らない

- ハローワークに求人票が出ていない病院も少なくない
- 求人票に魅力的な情報・応募につながる情報が未記入（具体的な仕事内容、研修等のアピール、感染対策）
- 労働条件が合わない（1日8時間・早出遅出・夜勤等で柔軟な働き方不可、定年等の年齢制限、給与）

### <看護補助者と比較される職種>

介護職、保育補助、障がい者支援、学童指導員、調理補助、警備、軽作業  
医療機関の事務やクリニックの受付等

## 【3】応募⇒採用に至っても早期に退職

- 看護補助者の年度内離職率は3割！
- 理由は「思っていた業務内容と異なる」が多い

病院

## 看護補助者の確保・定着に取り組む必要性

- 看護補助者や求職者を取り巻く現状や期待される労働環境などを把握した上で、看護補助者の確保・定着に取り組むことが重要です。
- また、看護職と看護補助者が、それぞれの役割と責任を果たし、安全で質の高い看護が提供されるよう業務実施体制の整備が必要です。

### 【看護職】

看護の専門性を  
必要とする業務に  
専念

### 看護チーム

【看護補助者】  
看護業務を補助

